

第1回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会

日 時 平成30年7月31日(火) 午後6時30分～午後8時35分

場 所 本庁舎3階 第一会議室

出席委員 9人

委員長 渡 邊 嘉二郎 委員

副委員長 小 川 順 弘 委員

委 員 鴨 下 明 子 委員 橋 田 壤 志 委員

松 本 敏 朗 委員 小 宮 貴 大 委員

本 間 紀 行 委員 沼 崎 明 大 委員

天 野 建 司 委員

---

事務局職員

企画政策課長 梅 原 啓太郎

企画政策課企画政策係長 古 賀 誠

企画政策課企画政策係主任 金 原 真紀子

---

傍 聴 者 1人

(午後6時30分開会)

◎古賀企画政策係長 ただいまから第1回小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会を開催します。本日は、お忙しいところ、御出席いただきまして、ありがとうございます。委員長が選任されますまで、司会進行をつとめさせていただきます企画政策係長の古賀と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、4月1日付けの異動により、事務局の職員体制に変更がございましたので、報告させていただきます。

企画政策課長の梅原でございます。

◎梅原企画政策課長 梅原です。よろしくお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 企画政策係主任の金原でございます。

◎金原企画政策係主任 金原です。よろしくお願いいたします。

◎古賀企画政策係長 今年度は私を含めた3名で事務局を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、ここでお配りしております資料の御確認をお願いします。次第の他、資料1から4までを事前配付しておりますので、過不足等がないか御確認ください。

(資料の確認)

◎古賀企画政策係長 資料の確認は以上です。不足しているものがございましたら、お申し出

ください。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。それでは資料の確認を終了します。

---

◎古賀企画政策係長 次に、委員長の互選について議題とします。小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会設置要綱第5条第3項において、「委員長は、会務を総理し、委員会を代表」し、委員会にあつては議事進行等を行っていただくこととなっています。また、第2項において「委員長は、委員の互選によって定める」となっております。選出方法について何か御意見がある方がありましたら、お願いします。

◎沼崎委員 推薦はいかがでしょうか。

◎古賀企画政策係長 推薦という御意見がありました。それでは、どなたか御推薦がありますか。

◎沼崎委員 前期に引き続き、渡邊委員にお受けいただけないでしょうか。

◎古賀企画政策係長 渡邊委員の御推薦がありました。みなさん、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。御異議ございませんので、委員長互選につきましては、渡邊委員を選出することと決定しました。それでは渡邊委員、委員長席へ御着席いただき、就任の御挨拶をお願いいたします。

(渡邊委員、委員長席へ移動)

◎渡邊委員長 前期に引き続き委員長ということで、先ほどのルールに従って委員会を運営していかなければならないということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。また、小金井のためになるようなことをやりましよう。よろしくお願ひします。

◎古賀企画政策係長 ありがとうございます。それでは、これからの議事進行につきまして委員長と交代したいと思ひます。委員長、よろしくお願ひします。

---

◎渡邊委員長 では、委員長として、以後の議事進行に当たらせていただきます。続けて、副委員長の互選に入ります。副委員長についても設置要綱第5条において、委員の中から互選することとなっておりますが、選出方法について何か御意見がある方がありましたら、お願いします。

◎沼崎委員 推薦はいかがでしょうか。

◎渡邊委員長 推薦という御意見がありました。それでは、どなたか御推薦がありますか。

◎沼崎委員 副委員長につきましても、前期に引き続き小川委員にお受けいただけないでしょうか。

◎渡邊委員長 小川委員の御推薦がありました。みなさん、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 それでは、副委員長互選につきましては、小川委員を選出することと決定しました。それでは小川委員、副委員長席へ御着席の上、就任の御挨拶をお願いします。

(小川委員、副委員長席へ移動)

◎小川副委員長 今、御指名いただきました小川です。ここでは多角的な視野で皆さんが意見を述べられていて、本当にすごいなと思っております。いろいろと出た意見を知識として留めるのではなく、知恵に変えて小金井市のまち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会を充実させていければいいなと思っております。よろしく願いいたします。

---

◎渡邊委員長 それでは議題3「委員会の運営等について」を議題とします。ここでは、会議録の作成方法等を決めておきたいと思えます。事務局より説明をお願いします。

◎古賀企画政策係長 資料1-1「委員会の運営等について(案)」を御覧ください。

基本的には前期と同様の扱いにさせていただきたいと考えております。

まず、1「会議録作成の基本方針等」についてです。会議録の作成方法については、①全文記録、②発言者の発言内容ごとの要点記録、③会議内容の要点記録の3種類がございます。

前期においても全文記録を採用したことから、今期におきましても全文記録といたしたいというのが事務局(案)でございます。

次に、2「会議の公開」の部分ですが、小金井市市民参加条例第6条の規定により、附属機関等の会議は公開となります。

また、3「会議の傍聴」については、「小金井市附属機関等の会議に関する傍聴要領」に沿って、会議は公開とさせていただきます。

続いて、4「意見・提案シート」の設置について説明いたします。

資料1-2「意見・提案シート」を御覧ください。

「意見・提案シート」は、傍聴環境の整備に関しまして、傍聴者の意見を積極的に反映できるようにするためのものです。傍聴にいらっしゃった方に、資料と一緒に配付し、意見がある方から事務局に提出してもらおうというものでございます。前期においてもこの「意見・提案シート」を導入したことから、今期におきましても導入したいというのが事務局(案)でございます。

説明については以上です。

◎渡邊委員長 事務局から説明がありましたが、事務局から説明いただいたとおりでよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 それではそのように決定したいと思います。

---

◎渡邊委員長 続きまして、議題4「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会

設置要綱について」に入ります。事務局からの説明をお願いします。

◎古賀企画政策係長 資料2「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会設置要綱」を御覧ください。

昨年度の委員会で御紹介させていただいたとおり、平成30年1月5日付けで要綱の一部改正を行っております。改正箇所は下線を引いておりますが、本委員会で本市の将来像について御議論いただくため、第1条及び第2条にそのための文言を追加し、本委員会の名称を「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」から「小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略等推進委員会」へ変更しております。

なお、各委員の皆様方の任期につきましては、第4条にございますとおり平成32年3月31日までとなっております。

◎渡邊委員長 事務局から説明がありました。御意見、御質問等はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 御意見、御質問等はないようですので、以上で議題4を終了します。

---

◎渡邊委員長 続きまして、議題5「総合戦略等について」に入ります。事務局からの説明をお願いします。

◎古賀企画政策係長 資料3を御覧ください。「1 本市における計画」について説明させていただきます。

現在、本市には平成28年3月に策定した「第4次基本構想・後期基本計画」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がございます。「第4次基本構想・後期基本計画」が平成28年度から平成32年度までの5か年計画、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が平成27年度から平成31年度までの5か年計画となっておりますが、この2つの計画につきましては共通する項目も多く、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられているKPI指標39項目のうち、31項目が「第4次基本構想・後期基本計画」と重複する指標となっております。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、国の総合戦略に基づき策定しているものであり、平成32年度以降についての情報はほとんどないところではありますが、現時点での市の考えとしましては、現在の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標年度は平成31年度までとなっておりますので、1年延伸した上で平成32年度までの計画とし、次期基本計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略を平成33年度からの計画として一つにまとめたいと考えております。

次に「2 本委員会で議論していただきたい事項」についてです。

この委員会において今任期中に議論していただきたい事項としましては、(1)の昨年度までに議論していただいた2点に加え、(2)の3点についても議論していただきたいと考えております。

1点目は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において独自に設定した8項目の検証についてです。今期は5か年計画の3年目の検証となりますので、現時点での取捨選択は考えており

ませんが、次期総合戦略に残すべき指標かどうかの検証も含めた議論を進めていただきたいと思います。

2点目はシティプロモーションについてです。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標1の基本的方向2に「小金井の魅力を発信するシティプロモーションの推進」を掲げているところですが、今期においてはこの点に的を絞った議論をしていただくための回を設けさせていただきたいと考えており、その際には広報秘書課の職員が出席の上、説明等をさせていただく予定です。

3点目はその他、次期総合戦略に係わることについてとなります。これは今後、国から示される次期総合戦略に関する情報を基にして新たにお願いする点が出てくる可能性があることから記載させていただいているものであり、現時点で何か明確にお示しするものはございません。

説明は以上です。

◎渡邊委員長 事務局から説明がありました。御意見、御質問等はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 御意見、御質問等はないようですので、以上で議題5を終了します。

---

◎渡邊委員長 次に、議題6「全体のスケジュール等」について、事務局からの説明をお願いします。

◎古賀企画政策係長 それでは、今年度のスケジュールについて説明させていただきます。

昨年度にもお知らせしたとおり、今年度は本日を含め、計6回の委員会開催を予定しております。残りの5回の開催月につきましては、8月、10月、11月、1月、2月を予定しておりますが、いずれの回につきましても、皆さんとの日程調整により決めていきたいと思っております。

◎渡邊委員長 事務局から説明がありました。御意見はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 それでは、概ねこのスケジュールで進めていきたいと思っております。

---

◎渡邊委員長 それでは、「小金井市まち・ひと・しごと総合戦略」施策の効果検証について議論を行っていただきたいと思います。ここで事務局から休憩を求められておりますので、休憩します。

(休憩)

◎渡邊委員長 再開します。

「小金井市まち・ひと・しごと総合戦略」施策の効果検証についてという議題であります。今期は本日を含め、6回あります。委員長の考えで、本日は全体を俯瞰したいと考えております。そもそもどういう構造だったのか、委員の皆さんには事前に評価していただいたわけですが、個々の評価シートで意見や質問があればお願いしたいと思います。

資料4を御覧ください。まず1ページから5ページまでが評価結果の一覧表になります。1

ページから2ページまでが「基本目標1 小金井の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるまち」、3ページが「基本目標2 多様な働き方ができ、安心して結婚・出産・子育てできるまち」、4ページが「基本目標3 時代に合った地域をつくり、安全・安心に暮らせるまち」となっております。

さらに、それぞれその下に基本的方向というものがあり、具体的には基本目標1の下に「基本的方向1 魅力が共存する小金井らしいまちづくりの推進」、「基本的方向2 小金井の魅力を発信するシティプロモーションの推進」、「基本的方向3 多様な主体の交流、協働、連携を生み出す地域の実現」とあり、その下に各指標が並んでいます。

当初、平成26年度から始まって平成27年度、平成28年度、平成29年度と目標年度の平成31年度に向けた実績が、人数とか件数とか個数とかが掲載されており、一番右端に評価AとかBとかCなどと評価されています。

今年度全体を見ますと、基本目標1の基本的方向1はA、C、B、A、Bという評価になっております。まあまあ良い評価なのかなと思います。次の基本目標1の基本的方向2はD、C、D、A、D、Bということで、D評価が多くなっております。これを見ると、シティプロモーションについては取り組まなければいけないのかなとよくわかるわけです。それから基本目標1の基本的方向3はA、B、Bということで、ここについてはそこそこのかなという感じです。目標値を超えているところもあるし、もう少しというところもあります。

基本目標2の基本的方向1はB、A、A、Cということで、待機児童数ゼロという目標ですけど、非常に厳しい中で257人を156人まで持ってきている。また、認定こども園についてはいろいろと制約があると思うんですけど、1園増えたということでAとなっている。子育て支援ネットワークの参加団体数ということで、これはAとCになっていますけど、団体数は目標値をクリアしているけれど、機関数は当初値と変わっていない。まあ、待機児童数ゼロというのはかなり厳しい目標なんですけど、もう少しがんばりたいなあという指標でしょう。

それから基本目標2の基本的方向2については、冒険遊び場の開催回数ということで、週5回という平成31年度の目標に対し、初めから週5回となっております。次に放課後子ども教室の推進委員会形式による実施件数については9件ということで維持しております。次に大学との学習支援に関する協働研究連携協力校数ということで、これは14校という目標ですけど、2校でずっときています。最後によりよい地域社会を目指して地域貢献活動に関わろうとしている児童生徒の割合ということでいくと、上が小学校、下が中学校で、中学校の方は目標値をクリアしていますが、小学校の方は目標値より少し少ない。

それから基本目標2の基本的方向3については小金井らしい働き方・ライフスタイルの実現ということで、しごとづくりに関する相談件数がA、審議会等への女性の参画率については50%の半分にしたいという目標に対し、3分の1くらいだということです。男性職員の育児休業取得率というところしていくと、目標の13%に対し、既に15%になっており、Aとなっております。

基本目標3の基本的方向1は誰もが不安なく暮らせる安全・安心のまちづくりの推進ということで、住居専用地域の割合はずっとA評価ということで変わっていない。高齢者自立支援住宅改修給付事業の給付件数については60件という目標に対し、38件ということで目標到達には至っていない。C o C oバスの利用者数は1,161,087人という目標に対し、1,043,760人となっている。自主防災組織の数については目標が30団体ですが、27団体のままで団体数が増えていない。それから刑法犯の認知件数は横ばいでしたが、平成29年度はかなり減っている。認知症サポーター数については、目標をある程度クリアしています。地域密着型サービス事業所数は31か所の目標に対し、28か所だったんだけど、27か所に減ってしまっている。

基本目標3の基本的方向2は誰もが健康で、いきいきと暮らすことのできる地域の実現ということで、小金井さくら体操の参加者数は目標の700人に対し、今年はぐんと増えて907人になっています。65歳健康寿命の延伸については、男性は延伸していませんが、女性は延伸しています。スポーツ教室・スポーツ大会の参加者数は20,060人という目標に対し、16,336人となっています。また、高齢者いきいき活動講座参加率については、100%にしたいところだけだけれど、78%となっています。

基本目標3の基本的方向3は生活を豊かにする地域のふれあい、つながりの醸成ということで、ボランティアセミナー参加者数は160人にしたいところ139人ということでもう少しであります。昨年は超えていたんですが、減ってしまったんですね。図書館における住民1人当たり図書貸出冊数ということで、8.4冊にしたいんだけど、7.6冊ということで、昨年より少し減っています。公民館の平均稼働率は67.3%にしたいんだけど、63.8%となり、微増となっております。

全体的にみるとこんな感じですが、コメントや質問があればお受けします。

◎沼崎委員 27年度から評価していると思いますが、同じ評価が続いていて、評価が変わっていないものが多いかなと思います。Aが続くのはいいですが、Dが3年連続続くというのは果たしてあるべき姿なのか。何も対策を取っていないと思われても仕方のない感じに見受けられるので、D評価が続いているものについては次年度に向けての課題・展望の欄に具体的な策をちゃんと落とし込むとか、検討するで終わるのではなく、きちんと改善に向けた努力というのを示した方が市としてはいいのではないかなと私は思います。

◎渡邊委員長 ありがとうございます。他に何かございますか。私が読ませていただいたところでは、委員の皆さんのコメントをよくまとめていただいていると思います。ただ、自分で書きながらこれを見たときに感じたのは、評価シート2の中で私は指標の見直しが必要と書きましたが、これは指標が決まった後のことであって、K P I指標がこうあるべきだという議論とは違うので、自分で書いたんですが、ちょっと違和感があるということを感じました。K P Iのあり方はK P Iのあり方としてどこかで議論すべきであって、決まったK P IについてはそのK P Iにしたがって評価するのが筋かなということを感じました。

また、評価シート6のところ、私は「定着率は問題ではない。どこで活躍してもセンターで学んでもらったことが意識を持つ」と書きましたが、小金井市の指標として考えたときにちょっと失敗したかなというのがあります。

◎鴨下委員 私一人だけ×をつけたところで、私が文章を読めてなくて×をつけたのか不安になったところがあります。評価シート3の小金井の再開発なんですけど、北口についての進捗状況がこの結果の説明を読んだときに私の解釈だと一旦解散してまた新しい協議会を作るとなると後退なのかなと思って×をつけたんですけど、皆さんの評価を見るとそうでもないなと思いました。

◎渡邊委員長 総体的に後退しているように感じられるということですね。

◎鴨下委員 そのように感じてしまったんですけど、現状はどういう状況なんですか。

◎梅原企画政策課長 目標が2地区ということになっていて、今は南口には建物が建って進んでいます、そこについては順調に進んでいて、そこが完成すれば2つ目の地区ということになりますので、そういう意味では後退ということでもないのかなと思います。

◎渡邊委員長 私は感覚も重要だと思っていて、私は皆さんのコメントのところに「武蔵小金井駅北口は後退したように感じられる」という文章の前に「市民感覚として」という言葉を入れるといいのかなと思います。実際にはわからないけど、武蔵小金井駅北口は置いてけぼりだという気持ちがあるわけですから、それを言いたかったということですよ。

◎鴨下委員 はい。

◎渡邊委員長 だから、これはこれであっていいかなと思います。

◎天野委員 実際には大手のスーパーが閉店し、北口が寂しくなったみたいな声を皆さんからいただいています。ただ、このまち・ひと・しごとの評価シートとすれば、再開発自体が地権者の意向だとかいろいろなことがあって進んだり、準備組合が解散したりということがあるので、なかなか評価すること自体が難しいという思いはあります。

ただ、委員長から言っていたとおりの市民感覚としては寂しいというのはあるので、そういう評価はありかなと思って聞いていました。

◎小川副委員長 感想です。こういう評価シートは予算のことや政策のこともあるので全部A評価にするのがいいのかどうかということを感じます。例えば、評価シート11のはけの森美術館の入場者数を増やすのはすごく簡単だと思っています。それは小学校4年生が必ず見学に行くようになっていますが、これを中学年以上は全部というふうに広げると入場者数はぐんと増えるわけですが、なかなか行けない理由は授業時数のこととか行くには歩きでないと行けないというのがあります。市の方でバスを用意してくださいとお願いしているわけですが、なかなか難しい。そういうふうに予算をつけていただければ、そういうところはものすごく数が増えると思います。それから、同じようにC o C oバスの利用者もそうです。補助金をもっと増やせば、バスの台数とかコースももっととなるんだろうけど、費用対効果の点でどうなのかということもあります。



また、評価シート20の放課後子ども教室は9件とありますが、9校だと思います。これは国からの補助金の関係があつて必ず行わなければならない。ですから、このところは小学校の数から9以上にはならないと思うんですね。

そういうところからすると、全部をA評価にするのが目的ではないのかなあというふうな気もしているんです。

◎**渡邊委員長** まあ、PDCAサイクルからすると、上に上げることが目的ではあるんですけど。だから量の問題ではなく、質の問題をどう評価するのかというのがあつて、美術館で人数は少ないけれど、非常にいい時間を過ごしたという人もいると思うんですよ。だから、そのところをどう評価するかというのがあります。

◎**小川副委員長** やはり質と量の問題を考えていかなければならないとすごく感じる時があります。

◎**天野委員** 今、副委員長の方から貴重な御意見をいただいたんですけど、考え方として先ほど休憩時間中に松本委員がおっしゃっていただいたことがあつて、やはり人口減少社会ということ为背景に計画を策定し、その中に各指標があるという中で、やはり市外の方々が小金井に行ってみたいなあという人を増やしたりだとか小金井に住んでみたいなあという人を増やしたりだとか、または小金井に住み続けたいという人を増やしたいというのが一つの目標としてあるので、すべてがまち・ひと・しごと創生総合戦略の指標としてふさわしいかどうかということも毎回委員の方からいただいているところではあるんですけど、これから5次の新しい計画を作っていこうということもあるので、そういった観点、そういった見方も含めて御意見をいただければ私どもも幸いですので、どんどん御意見をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

◎**小宮委員** 先ほどから予算の話が出ていて、ちょっと伺いたいのは、この総合戦略の中でこういうところには力を入れていこうだとか、市として何か持っているのであれば、それを教えていただければ、我々としても議論をするモチベーションが上がるかなと思いました。

◎**天野委員** 予算の考え方なんですけど、小金井市はそれほど財政的に豊かではないという限られた状況の中でどう市民の幸せの増進のために予算をつけていくのかということを常にやっております。それで一つの考え方とすれば、最上位計画であります基本構想・基本計画、それからまち・ひと・しごと創生総合戦略という二つの計画を推進することによって人口の維持、人口の増加を生み出し、まちが活性化をしていくということを掲げております。ただ、同時に予算というのは当然限りがありますので、先ほど話の出た行財政改革プラン2020というものがあるんですけど、そういった行革を進めたりだとか今後、公共施設の問題、人口減少社会に向かって公共施設は今のままでは維持できないよねというようなことも考えながら、行革も進めながらこの計画を推進していくというのが予算の考え方です。

だから、ここで議論されたようなことを踏まえて基本的には大きなくりでいえば予算も組み立てられているということでもよろしいかなと思います。

◎沼崎委員 評価シート11になります。次年度に向けての課題・展望のところに「来年度については助成金を獲得できなかったので広報媒体が大幅に縮小することとなる」とあります。また、評価シート19で「次年度以降の安定的な歳入確保のめどが立たない点が課題である」とあります。予算のところでは事業のやり方というのが少し変わってくるような項目もいくつかあると思います。そうなってくると、この総合戦略のKPI指標というのは予算ありきでもしかしたら立てられた目標という可能性もあると思いますが、そういった予算によって変わってくる事業がそれくらいあるのか。もし予算がつかなければ最後の最後に目標に到達できないような指標も出てくると思います。そのあたりの考え方が委員としてもどう評価したらいいのかが難しいと感じたところです。

◎渡邊委員長 私も評価シート11では「助成金なしで取り組むコトこそ、本当の取り組みとなる。ゼロから取り組みを考え直すときであろう」というコメントを書きました。予算ありき的前提でなくても知恵があればできるじゃないのと。市民協働とかいろいろ言っているわけだから、そういうのをうまく使っていくことにより実はかなりできることがあるんじゃないのかなということを書いたかったですね。市はどう税金を使うかというのものもあるでしょうけど、市民の感覚としてはそういうところもあるかなという気がするんですね。

◎天野委員 事業の評価の仕方ですけど、主管課の方にも考えてほしいというところがあって、回数の増についてですけど、例えば講座の回数を10回から20回に増やせばいいということではないと思っていて、どれだけの人たちが来てくれるのか、またはその講座を受けた人たちがその後地域に帰ってそれをどう返していくかということまで見ていかないと、その事業の成果というのは見れないと思っています。だから単純に量が増えたからというポイントだけでなく、質の部分、それから委員長から言っていたように単純に従前どおりであったりとか回数を増やすということではなく、創意工夫、これからは行政だけでは地域の課題とか市民の課題とかを解決することはできないんですね。そういったときに地域の力、企業の力を借りて市民サービスの向上を行っていく、小金井をもっと活性化していくということを実際に小金井市民の方々は実践していると思っていて、そのようなところをもっと評価したりだとか、次期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するときにはそのようなことをもっと反映させていくみたいなこともどんどん議論していただきたいと思っています。

◎松本委員 2点あります。一つは先ほど沼崎委員がおっしゃったように当局がどういうふうな取組をしているのかというのが、この単年度のデータ表だけではわかりにくいところがあるんですね。だから時系列的に各年度の主管課が評定した結果とこの審議会が評定した結果を並べてみて、例えば、D、D、Dが続いているのに主管課のコメントが問題意識を欠くものであれば、主管課の方に審議会の場に出てきていただいて、一度議論をしてみるといったことを行ってもいいのではないかと思います。

基本的にPDCAサイクルで回そうとしているわけですから、いつまでも評価がDのまま動かないというのであれば、それは行政が怠慢なのか、どこか別に問題があるのかを吟味してい

かないと、この評価シートにコメントを書いても実効性がないのかなあと思います。

もう一点は、私自身の経験ですが、緑町の公民館の活動というのはすごいなあと思っています。補助金が出ているとか市から言われてやっているのではなく、委員の方が、自分たちでお互いに知恵を出し、工夫をしながら積極的に取り組まれています。各地の公民館でも活発な活動をされていると思いますが、ベストプラクティスじゃないですけど、そういう模範というか他のグループも参考にできるようなものが伝わるような工夫を市当局の方から示していくのも一つありなのかなと思います。予算は限られていますから、お金をかけずにできるような工夫を取り上げて、それを波及、浸透させていくような工夫もこういう検討の中から出てくればいいのかという気がします。

◎本間委員 やはりAではなくCとかDとかいうのはまだまだ進んでいないということだと思います。予算がつかないとかいろんな理由があるとは思いますが、そのあたりは知恵をふりしぼって小金井市と私たちがアイデアを出せばすごくいい結果になると思います。

◎渡邊委員長 評価シート33の小金井さくら体操は参加者数が増えているんですね。この間、たまたま法政大学の福澤レベッカ教授が学生さんたちと一緒に市の方へ行き、このさくら体操に参加されている高齢者の方々にインタビューをし、データ収集を行いました。学生が高齢者の方々にインタビューを行い、学生も自分たちの50年後が見れて楽しかったそうですし、高齢者の方々も若い方々と話ができて楽しかったということで非常にいい感じでした。この小金井さくら体操は非常にいい活動なんですね。お金がほとんどかからず、健康増進につながり、コミュニティにつながるという、それこそ行政負担を市民自ら減らしているという活動なんです。こういうような活動が小金井にはたくさんあると思います。

◎橋田委員 指標に関しては他の委員の方々もおっしゃっているように量より質ということについては自分もそのように思います。

ところで評価シート6についてですが、この目標値の50%というのは何となく半分残ったらいいなあという感じの50%なのか、他市の事例として50%だったら後々つながっていくという実績を踏まえた上での数字なのか、なぜこの目標設定なのかというのがあまり見えてきません。そのため、なぜこの目標設定なのかというような理由が書いてあると評価するときにわかりやすくなると思います。

◎渡邊委員長 D、D、Dと評価が続いているものについてはPDCAサイクルが回っていないんですね。回らないというのは理由があって、制度的に回しようがないというのものもあるんですね。そういうものは本当はKPI指標として選ぶのが適正だったのかということもあるんです。このPDCAサイクルというのは見た目はいいですよ。でも実際にこれを実践したときにはそうはいかない。もしかしたらD評価になっている事業でも本当はすごくいいことを行っているものもあるかもしれません。これはこの仕組みの取り組み方に対する意見です。

◎小川副委員長 一ついいでしょうか。沼崎委員にお聞きしたいんですが、評価シート29のコメントに記載のある「立川災害ボランティアネット」とは具体的にどのようなところなので

しょうか。

◎**沼崎委員** これは東日本大震災をきっかけとして立川市民の有志で設立された団体なんですけど、要は防災力向上の啓発活動というのが目的の会になりまして、防災減災のための実践的なカリキュラムを学ぶイベントや講座を行っており、立川市民だけが参加できるというのではなく、自助とか共助とかそのあたりの知識の備えというのを市民レベルで行っています。

◎**小川副委員長** 研修というか、そのようなことを行っている会ですか。

◎**沼崎委員** 任意団体でそのようなことを行っています。要は地域の人たちはそれぞれで自分たちを守る知識を身につけていこうねっていうことをきちんと浸透させていくような団体です。市が主催で行うというよりは完全に市民レベルで広げていこうという団体です。

◎**小川副委員長** ありがとうございます。今回の評価シートの方にも意見を入れていただいてよかったなと思っているんですけど、私としては今の形の防災のシステムというんでしょうか、町会や自治会が中心になってというのはかなりの課題があり、これからは実際に何か起こったときに会社などに来ている人がいかに係わっていくのかというのが課題になっていくんだろかなあと思います。

◎**沼崎委員** 「立川災害ボランティアネット」も高齢者の参加が大半であり、若い世代の参加率をどのように高めるかが課題となっています。

◎**渡邊委員長** この評価シート29で松本委員は「市内大学研究室の協力も得て」というところのイメージがピンとこなかったんですが、どのようなものでしょうか。

◎**松本委員** そういうものを専門に研究しているチームがありますよね。ここがどのようにやっているのか知りませんが、是非市とそういう研究を行っている大学とタイアップしてやっていただくこととかそういうことも含めて考えていただければありがたいなと思います。

◎**渡邊委員長** 防災そのものに関してでしょうか。それとも防災組織に関してでしょうか。

◎**松本委員** それは全部ゼロベースからだと思うんですね。そもそも小金井市の防災マップを見たことがないので、どういった災害が予想されるのかわからないんですが、地域によっては、起こり得る災害、住民の分布、特に高齢者の様子などを総合して、何かあったときにはどういうふうに対処していくんだとかいろいろやっていますよね。特に津波の来るようなところだとすごく積極的にやってるんですけど、小金井は環境的には極めて恵まれたところにあるので、ちょっと後追的になっているのかなという気はします。コンピュータの性能が上がって、1件1件ごとのデータを入力処理することも可能な時代ですので、そういうふうにして人の行動とかいうのを想定しながらいい防災体制を構築していただければありがたいと思います。

◎**渡邊委員長** それとちょっと関係ないかもしれませんが、私が現役のときにうちの大学院の学生に要請があったものですから消防団に入ってもらったんですが、あれはすごくよかったと思います。なぜかというと、消防団で学生が先輩方と縦社会なので鍛えられるんです。また、消防団の方も学生が来たということで喜んでくれました。彼は就職活動のときに消防団の話したら一発で内定をもらったと言っていました。あれは教育の場でもあるんです。やはり小金

井には大学がたくさんあるので、学生さんにそういうところに参加してもらって、小金井市は実はいろんな場所が勉強の場であると、そしてそれが小金井市の役に立つんだという仕組みとしてあるかなという気が実はしたんですよね。

◎松本委員　すごい多方面のとらえ方が必要ですよね。委員長がおっしゃるように社会人の中で揉まれて勉強するというのもそうだし、病気とか生死を争うような判断というんでしょうか、そういった訓練も必要だし、被害を最小にするようなシステムづくりも必要だし。

◎渡邊委員長　小金井市にある大学は大学の中だけが大学ではなく、小金井市全体がキャンパスだよと、そしていろんなところでいろんな活動をして学んでもらうというコンセプトでいくと結構おもしろいかなと思います。

◎小川副委員長　そういう意味では細かいつながりをつくっていくのが大事だろうなと思っていてるんです。以前にも空き家対策の話で、例えば学生さんにシェアをさせて、町会の活動にってもらうようなこととかもありだよなって話もしました。また、防災の話ではある町会では地域の病院と話をして何かあったらその病院に行けるような仕組みを作っているところもあります。そのようなことを考えると、やはり地域に密着した形で活動していかないとなかなかうまくいかないのかなと感じています。ですから、大きなくくりと細かい視点でやっていかないとこういうことはただAだBだではなかなか評価できないというのはありますね。

◎渡邊委員長　そのとおりです。小金井市は市内の大学と協定を結んでいるんですね。その協定をうまく生かしていけば結構おもしろいことができるという気がします。

◎小川副委員長　うまくいった事例としては科学の祭典というのがあるんですけど、あれは全国的にいいものになりましたよね。最初は本当に少なくて大丈夫なのというものだったんですが、今では1万人単位で市外の方も来ますしね。ですから、うまくいくとかなりの成果が見込めます。

◎天野委員　今、大学との協定のお話をいただきましたが、小金井市は民間企業とも連携を結び、高齢者の見守りということで、企業さんと一緒に仕事をしながら高齢者を見守りをしていくような協定を結びました。結構、ここの指標にないような公民連携の取組も行っているんですね。ですから、このK P I 指標の評価の仕方について個人的には思うところもあるんですが、そういうような取組も評価していただきたいと思うところです。

また、先ほど松本委員の方からベストプラクティスといういいものはどんどん知らせていった方がいいという話があり、委員長からはさくら体操のことを取り上げていただきましたが、確かに評価は変わらなくてどうなんだというすどい御指摘もいただきたいところではあります。こういう取組は小金井市としていいんじゃないかみたいなことも議論していただけると非常にいいかなと思っています。

個人的に思っているのは、これから小金井市をどんどん良くするに当たって、住んでほしい、来てほしいというときに小金井をいいというか誇りを持っていただかなければならない状況にだんだんなってきたらと思っていますので、今回は皆さんの方へのミッションとして長期の将

来像を考えてほしいというものをに入れておりますので、そういういいところはどんどん言っていただけると職員の励みになると思いますのでよろしくお願いします。

◎渡邊委員長 まさにシティプロモーションがそれだと思うんですよ。悪いところをいくら言っても仕方ないことで、小金井にはいいところがこんなにあるよってところを全部数え上げるとすごく魅力的なまちに見えると思います。

今日は全体的なお話ということで委員の皆さんから御意見をいただきましたが、今日はこのあたりで終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎渡邊委員長 それでは、以上で議題7を終了します。

---

◎渡邊委員長 では、議題8「次回の開催日」について、事務局から説明をお願いします。

◎古賀企画政策係長 次回の日程ですが、いくつか候補日を示させていただき、その中から決められればと考えております。

候補日としては、8月20日(月)、8月23日(木)、8月24日(金)を考えております。また、開始時間についても今回と同様に18時30分からとするか、もしくは皆さんの御都合により、変更も可能と考えておりますが、いかがでしょうか。

◎渡邊委員長 それでは、日程調整を行いますので、会議録はいったん休憩にします。

(休憩)

◎渡邊委員長 それでは、再開します。次回は、8月20日月曜日18時30分から、場所は開催通知にてお知らせいたします。以上で本日の議題はすべて終了しました。おつかれさまでした。

(午後8時35分閉会)